

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 9月

0 はじめに

猛暑だった日々がようやくゆるみ、すこし清々しい空気が流れるようになりました。保護者の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、季節は巡り、あっという間に9月末を迎えました。8月末に非公開で実施された学校祭では生徒達の素晴らしい笑顔を見ることができ、普通の学校生活の中にある、大切なものを感じ取ることが出来ました。

秋を迎え、いよいよ本格的な受験シーズンがやってまいります。共通テストの出願も迫り、受験に関する各種の講話も連日のように実施しております。

また、1・2年生においては、やっと落ち着いた学校生活のリズムを取り戻し、これからの進路選択にとって重要な、「文理選択」や「コース選択」などを真剣に考える準備に入りました。

今後、保護者の皆様にもご協力をいただきながら、大切な選択を進めていくこととなりますので、学校からの情報にも十分にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1 共通テスト「志願票」の提出について（3年生）

9/2（水）に、3年生全員を対象に、「共通テスト」出願のための説明会を実施しました。このテストは、国公立大学に出願するためには必須の試験であるとともに、私立大学においても活用されている試験なので、本校生は例年、3年生全員が出願し、受験しております。また今年度は、コロナウイルスの影響により、このテストが例年以上に大きな意味を持つと考えられます。

書き方も以前と異なってきているため、注意が必要になります。また、出願に関する書類はすべて「ペン書き」（消えるボールペンは不可）となっていますので、慎重かつ迅速に進めなければなりません。締め切りを守ることが非常に大切な時期ですので、保護者の皆様からも、折に触れてお声かけをお願いいたします。

2 学年部会へのご参加をお願いします。

大変ご多忙の折、誠に恐縮ですが、生徒達のこれからの大切な選択のために、学年部会において、できる限りの説明をさせていただいております。各学年とも十分に準備して開催しておりますので、学年部会で配布される資料を良くお読みください。また、解説される内容を正確に汲み取ってください。よろしくようお願い申し上げます。ご不明な点については、お問い合わせ下さい。

また、大学入試に関する数々の情報が様々なルートから広がっており、正確な情報とも言えない内容が拡散しているケースもございます。

時代の変化もあり、高校における指導や受験体制も大きく変化しております。新たな教育改革に対応した、**本校の、本校生に適した指導方針**をぜひご理解ください。

少子・高齢化が進み、競争倍率が下降している現在、大学進学の様相にも大きな変化が訪れております。これまでの指導方法では、対応できない部分もあり、本校の指導も徐々に変化してきております。時代の変化に対応した、生徒達の力を最大限に活かせる指導を目指してまいります。

3 大学入試の変化を一部ご紹介いたします。

① 英語重視の教育へ

グローバル化が進展し、外国人と共に働く社会が浸透してまいりました。入社試験における英語のウェイトも非常に大きくなってきております。また、大学における英語のみを使用した授業や英語による対話型の授業も広がってきており、英語を使えることは、大学生の必須条件になってきています。英語4技能検定は、共通テストや入試の一部としての導入は延期されていますが、大学内及び入社試験等では重要度が増しております。一部の私立大学・国公立大学においても、入試の一部に検定資格を求めている場合も散見されますので、求められている資格であることは間違いありません。

② 推薦入試・AO入試の変化

今年度から推薦入試は「学校推薦型選抜」、AO入試は「総合型選抜」と名称が変わりました。また、文科省による学力重視の方針から、いずれの受験型においても学力を求める受験条件が示されました。「総合型」においても、「共通テスト」または「独自試験」を課すと明言されています。また、いずれの受験においても、早期に合格が内定した場合、多く大学で「入学までの課題」が出され、その提出が必須となっております。

従って、推薦型であっても総合型であっても、学年の途中で勉強が終わるわけではなく、最後まで学力を高める努力が求められてきています。

③ 大学入試全体の変化

たくさんの変化が訪れており、ほんの一部をザックリと紹介しますが、

ア) 入試の問題が、知識重視から思考力・判断力重視へ

この傾向は昨年のセンター試験の時から顕著に現れてきており、覚えていれば出来るという問題ではなくなってきています。従って、センター試験の問題を過去10年分演習するなどという学習は、時代遅れとなりました。

イ) 活動実績報告書等の記録が必要に

学力のみならず、高校生活で身につけた様々な力を総合的に判断するという方針により、数年前から「活動実績」の提出を義務づける試験形態が増えてきています。国公立大学の前期・後期試験においても、その傾向が見られます。私立大学では、ネット出願のエントリーシートの入力の際に、活動実績を求める大学もあります。

部活動加入率の高い本校生にとっては、むしろ追い風となる改革ですが、しっかりと記録をとっておくことが大切です。

4 1・2年生の選択について

① 1年生の「文理選択」について

本校では、2年次から「文型」・「理型」に分かれて授業を受けますので、この選択はクラス替えの材料ともなります。教育課程上、3年次に別の型へ変更することは出来ませんので、大きな決断になります。選択する時期は、11月頃～になりますので、ご家族で十分にお話し合ってください。

その際に、現在の成績や得意・不得意にあまり重点を置かず、将来の選択に必要な方向性を重視していただくと悔いの無い選択につながるかと思います。ご検討ください。

② 2年生の「コース選択」について

3年次に「国公立型」か「私立型」かのコース選択を行います。「理型」の場合は、コース選択によって授業が変わることはありませんが、「文型」は、大きく変わります。また、入試の形態（学校推薦型等）によっては、優先順位が異なってきますので、コース選択は、大きな意味を持ってきます。

将来の進路に向けて、学部や学科を知り、入試の方法やポイントを知り、自分の夢の実現に必要なことを理解してくる時期です。ご家族で話し合う時間を持っていただき、生徒の考えや進路の方向性について、ご指導ください。

5 コロナ対策と進路

コロナウイルスの影響により、休校となったこと以外に、様々な影響が出始めています。夏のオープンキャンパスは、ほとんどの大学で中止され、実際に大学を訪問する機会が失われました。このことで、3年生のみならず、1年生の「夢・創造プログラム」2年生の「夢・描写プログラム」における校外研究活動も大きな影響を受けました。

また、大学入試においても不透明な部分が残っており、一部の国立大学では、早々に2次試験を実施しない（中止する）旨、発表されました。（横浜国立大学の一部 R2.7月）さらには、発展的な内容を削除するなどの特別な配慮を行う大学も国立大学の7割に達することがわかっています。

以上の様に、今年は特別な年になりますので、情報の入手に細心の注意が必要になってまいります。できる限りの情報提供を行っていきたいと思いますので、ご不明な点は遠慮無くお問い合わせ下さい。よろしくようお願い申し上げます。

進路指導部